

就任のごあいさつ

“向上し続ける日野の教育”をめざして



教育委員会委員長

西田 敦子

私はこの度、日野市教育委員会委員長の職務をいただきました。前、田口直委員長には、長期にわたり「ひのつ子教育」の充実・向上にご尽力いただき、心から感謝申し上げます。前委員長の子供への温かいまなざしと教育への高い理想を引き継いで、重責を果たしていく所存です。どうぞよろしくお願いいたします。

日野の教育は、学校、保護者、地域の方々、そして何よりも子供たちの努力が実り、今や、“教育のまち日野”と自信をもって言えるまでになりました。

市民の願いや社会の要請を踏まえつつ、未来像を描きながら“向上し続ける日野の教育”をめざして参ります。

そのためにも、教育委員は様々な場に進んで足を運び、多くの人と語り、“見て、聞いて、感じて、分かる”ことを大切にいたします。

また、教育委員会がどんな職務を担い、どんな考えで、どんなことをしているのか、広く理解していただく努力をして参ります。さて、世界文化遺産となつ

前教育委員長の田口直氏が4月26日をもって退任され、新たに濱屋委員が教育委員に就任されました。
また、6月21日付けで教育委員会委員長に西田敦子氏が就任されました。

はじめの一步



教育委員

濱屋 浩

20世紀を代表する物理学者、アインシュタインが面白いことを言っています。「学校で学んだことを一切忘れてしまった時に、なお残っているもの、それこそ教育だ。」アインシュタインが言いたかったことは、大切なことは知識の量ではなくて、学び方を知っていることや、自ら学ぶ姿勢なのだというところかもしれません。また、ドラマ

で人気の物理学者の湯川先生は、「現象には理由がある」という決め台詞があります。湯川先生は、観察された事実から因果関係を冷静に分析して事件を解決に導きます。

現在、国の教育再生実行会議では、いじめ問題への対応、教育委員会制度の見直し、大学の在り方などが議論されています。制度の在り方も大事な論点ですが、子供たちの学習や生活の状況を現象としてとらえ、動

機の分析や対応策の検討が必要であると思います。例えば、平成21年度の質問紙調査によれば日野市の子供たちは、自己有用感にやや課題があるという事実がありました。（ひのつこ教育第71号）日常的な励ましや、

子供たちは、これらの貴重な諸行事の中で、感動し、新たに学び、視野を広めることでしょう。日々成長する子供たちを、温かく見守つてください。

成功体験をバックアップするような取組みが必要だと思います。

観察したほうがいい対象がもう一つあります。それは、私たち自身です。自分の目の前の仕事から一歩離れて、世の中に起きている出来事を現象として理解し、その原因を探索しようとしているでしょうか。また、何かの問題を他人まかせにして、改善案を提案することを忘れてはいないでしょうか。教育について最初に考えるべきことは、「一生必要な力の基礎は何か？」という問いと「その力は、どうしたら向上するのか？」という問いの答えを関係者がどのように共有していくかということだと思います。

アインシュタインは、冒頭の言葉に続いて、「社会が直面する諸問題の解決に役立たせるべく、自ら考え行動できる人間をつくること」が教育の目的である。」と述べています。個性豊かな子供たちが、将来自立する力を身につけることができるように、現状を観察し、課題を解決するための提案ができればと考えています。

就学・進学説明会の開催

来年度、特別支援学級等への就学・進学を考えている保護者の方を対象に説明会を開催します。

◇日時

・平成25年7月25日（木）
・午前10時から正午まで

◇会場

・日野市生活・保健センター
予防接種室

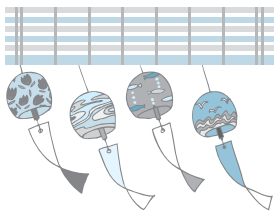
◇内容

- ・就学相談の説明
- ・特別支援学級の紹介
- ・特別支援学校の紹介
- ・個別相談会

◇申し込み方法・問い合わせ

・事前申し込み
（当日のご入場も可能）
「特別支援教育推進チーム」
電話 585-1111
（内線5261・5262）

（特別支援教育推進チーム）



お詫び

前号91号の「平成25年度教育予算」で金額の単位に誤りがありました。
正しくは、「千円」です。
訂正して、お詫びします。

先人の訓え

日野市公立中学校校長会 会長
（日野第三中学校 校長）
石村 康代



一世の中で一番大切なことは、人間として教養のないことです。

一世の中で一番尊いことは、人のために奉仕し、決して恩にきせないことです。

一世の中で一番美しいことは、全てのものに愛情をもつことです。

これは、福沢諭吉先生の「心訓」の一部です。私は、年に一度必ず朝礼で生徒に紹介します。私たちの生活の中には、先人が残してくれた、時代を超えて伝え続けられている言葉があります。「不易と流行」は教育

界でよく使われる言葉ですが、世の中には時代の要請の中で生まれては消えていくものと、どんな時代でも普遍的な価値をもつものがあります。このことから

も、伝え続けられている先人の教えは意味深いものだと思っています。子供たちに伝えてい

かなければならないと思っています。同時に、子供たちには、この平和な時代を築いてきてく

ださった人生の先輩たちへの感謝の気持ちを持ち、自分たちが

生命の伝承者であることの認識のもと、次の世代のためにこれ

から何をすべきなのかを考え、実践する力を育成していきたい

と思っています。

小学校の窓

の小学校
紹介

〔ホームページも、開いてみてください〕

日野市の各小・中学校では、特色ある学校づくりを目指し、様々な取り組みを行っています。

今号では、小学校の様子を紹介します。

紹介する内容は、各校のホームページや学校便りの入口です。詳しくは、各校のホームページをご覧ください。

(学校課)

日野第一小学校

校長 中島 和夫

伝統を力に



明治6年の端午の節句に開校された本校は今年節目の140周年を迎えました。この日野でこれだけの歴史を刻んでこられたのは、地域をはじめ多くの先輩方の本校への熱い思いがあったからにほかなりません。

本校の特色は、皆で力を合わせて頑張ることであると考えています。私は学校としての一体感を高めるものとして全員で歌うことが大切であると思っています。周年に備え歌声を響かせ、共に同じ目標をもって互いに磨きあう学校づくりに向けて、全力で取り組みます。



音楽朝会で発表する3年生

<http://www.e-hino1.hino-ky.ed.jp>

日野第二小学校

校長 中村 康成

明日の社会を担う子らのために



「みんなの意見を聞くうちに、そういう読み方や考え方もあるのだと納得できました。」と、6年生が国語の学習後に書いていました。児童が思いや考えを伝え合うことで、理解を深めていく授業の実現を目指しています。

来年(平成26年)の秋に、開校140周年の記念式典と祝賀会を行います。今後、準備を進めていく中で、児童の愛校心を高めるとともに、保護者や地域の皆様と一緒に、本校の歴史を振り返り、明日の社会に向けた教育活動を思い描いてみたいと思います。



ランニングタイムで体力向上

<http://www.e-hino2.hino-ky.ed.jp>

日野第六小学校

統括校長 古宮キヨ子

知・徳・体の調和を求めて



児童数800名、23学級で活気あふれる教育活動がスタートしました。その一つは、国語の授業を通して「書くこと」への挑戦です。だれもが書く楽しさを体得し、思考力を発揮できるように日々言語環境の充実に取り組んでいます。三つ目は、防災教育です。全学年で系統的に防災教育を行い、加えて防災セットも各自が携帯し自分の身は自分で守る意識を高めるなど、知徳体の調和のとれた教育活動を進めています。



体力アッププロジェクトを通し、体力増強をはかる子供たちの姿

<http://www.e-hino6.hino-ky.ed.jp>

潤徳小学校

統括校長 竹山 弘志

「歴史と自然を感じる」学校



本校は、明治6年に潤徳学舎として開校してから、今年度140周年を迎えました。その間、時代の大きな変動にもかかわらず「潤徳」の名を一度も変えることはありませんでした。また、長期にわたり「敬愛・自由・勤労」を教育目標としており、その精神が子供に浸透して、純朴で明るく、働きの子供が育つ校風が築かれています。



ビオトープの風景を写生

<http://www.e-juntoku.hino-ky.ed.jp>

平山小学校

校長 五十嵐俊子

伝統と先進の平山小学校



本校は、伝統と先進を重視したコミュニケーションスクールです。今年度は11月23日に平山地域に学校が誕生して140周年の伝統を祝う「平山の里まつり」を開催します。



生き抜く力を育む「トライタイム」

<http://www.e-hirayama.hino-ky.ed.jp>

南平小学校

校長 松永 式子

知・徳・体の揃った子供



本校では、「確かな学力の向上」「社会性の育成」「保護者・地域と連携した学校づくり」に加えて今年度は更に「体力向上」に取り組んでいます。昨年度から行っている中央大学陸上部との連携をより一層強め、短距離・長距離の走り方、障害走の走り方、バトンの渡し方、スタートの仕方などに助言をいただいています。持久走週間やなわとび週間にも全校で取り組み、子供たちの体力向上に努めます。



学校農園活動

<http://www.e-minamidaira.hino-ky.ed.jp>

旭が丘小学校

校長 石田 恒久

「からだをきたえる子供」を育てる



「からだをきたえる子供」の育成に取り組んでいます。まずは、運動の楽しさを味わうことができる授業を目指して指導力向上について研究に取り組んでいます。



体育朝会

<http://www.e-asahigaoka.hino-ky.ed.jp>

東光寺小学校

校長 大串 亮

子供が一番



本校は算数の研究を中心に行って参りましたが、本年度から体育を中心に研究を進めております。運動会は9月の暑い時期の練習期間を避け、春開催とし、熱中症対策も万全に行うことができました。これからも安全を第一に、体を動かすことが大好きで心身ともに健康な子供を育成して参ります。



運動会は今年から春開催

<http://www.e-tokoji.hino-ky.ed.jp>

日野第三小学校

校長 京極 澄子

授業のユニバーサルデザイン



日野市では、すべての子供たちにとって居心地がよく、学びやすい学校を目指して「ひのスタンダード」を全国に発信し、実践を深めてきました。本校も、この取り組みを始めて七年がたちました。今年は、環境の整備に加えて、国語の説明文の学習を通して「わかる・できる・楽しい」授業にするための工夫を重ねています。キーワードは「焦点化（シンプル）」「視覚化（ビジュアル）」「共有化（シェア）」です。教師も子供たちも生き生きと学ぶ研究にすることがねらいです。成果を11月1日に発表します。



国語の授業風景

<http://www.e-hino3.hino-ky.ed.jp>

日野第八小学校

校長 高橋 大造

第八小学校と、この地域が大好きな人



全校児童846名の大規模校です。年度始めにお会いする多くの方々が「子供たちは、元気にあいさつしてくれそうですね」「人なつっこいですね」と言ってくれています。登校してくる子供たちに、いつも地域の皆さんが「おはよう」、「気をつけていってらっしゃい」と声をかけてくださいます。学校を愛し大切にしてくださる地域の方々の思いが、子供たちの心にも受け継がれています。「第八小学校が大好き、この地域が大好きな人」に子供たちを育てていきたいと思ひます。



「ふるさと八小ふれあいまつり」の「わらそうり」づくり

<http://www.e-hino8.hino-ky.ed.jp>

仲田小学校

校長 内田 清

新しいものを創りだす意欲あふれる学校



「一歩踏み出してみよう。」学校創立30年目の本校では、若く活気あふれる先生たちと協力的な保護者・地域の皆様を集め、子供たちの明るい笑顔と歓声が響く学校づくりに日々励んでいます。これまでの姿から「こうなりたい」という思いを子供たちも先生もそれぞれがもって、一歩踏み出そうとする気持ちを大切に、「変わる」「変える」仲田小学校を目指しています。今年度は、「元気いっぱい運動大好き 仲田っ子」の育成を図るため、生活・学習習慣の見直しと充実を進めていきます。



バスケットボールを楽しむ先生と子供たち



大縄連続跳びに挑戦する子供たち

<http://www.e-nakada.hino-ky.ed.jp>

日野第四小学校

校長 中澤 正人

創立140周年をみんなの手で



本校は今年度140周年を迎えます。確かに、日野第四小学校としての歴史は58年ですが、それまで日野小学校（第一小）の分校として存在し、子供たちに学習の機会を創ろうとしたこの地域の皆様の教育に対する情熱を忘れてはなりません。今、保護者や地域の皆様が周年事業に懸命に取り組んでくださっています。是非ともこの140周年事業をみんなの手で成功させ、第四小学校のこれまでを振り返り、地域の第四小学校であることとを再確認し、保護者・地域とともに歩む学校を創造していけたらと願っています。



ぴーちゃん

<http://www.e-hino4.hino-ky.ed.jp>

滝合小学校

校長 岡部 君夫

何事もチャレンジする学校に



月に1〜2回の土曜日授業、高学年の教科担任制、「家庭学習のすすめ」の発行、ほぼ毎日のチャレンジタイム・読書タイムなどを取り入れて確かな学力の向上を図っています。東京都スポーツ教育推進校3年目として、芝生を活用したパワーアップタイム、スポーツの専門家を活用した体育の授業の充実、30分間昼休みなどを取り入れて日常的な体力向上を行っています。学校・社会のルール・マナーの遵守、不登校・深刻ないじめの防止等の取組を徹底して一人一人の規範意識の向上を行っています。これらの取組を通して将来社会に貢献できる人の育成を目指しています。



芝生でお弁当を食べる子供たち

<http://www.e-takiai.hino-ky.ed.jp>

夢が丘小学校

校長 阪田 幸子

地域、保護者とともに歩む学校



昨年開校10周年の節目の年を迎えた本校は、新たな10年に向かって「一人一人が生き生きと学ぶ学校づくり」を進めています。特に「さわやかあいさつ夢が丘」を生活指導の重点に置きあいさつ運動には、六年生が毎月1週間校門に立つて全校児童に「おはよう」と明るい声かけをしています。異学年交流も定着し、高学年児童は低学年児童を良く気遣い仲良く交流しています。また、美しく落ち着いた教育環境の中で健やかでかしこい子供を育てるために、清掃活動や花づくり、読み聞かせにも地域や保護者の大勢の皆さんに協力していただいています。来年度2月21日に算数の研究発表会を行います。



あいさつ運動に取り組む6年生

<http://www.e-yumegaoka.hino-ky.ed.jp>

日野第五小学校

校長 福島貴美江

地域とともに『夢』を育む



地域開放型の施設・設備を有する本校は、学習環境に大変恵まれた学校といえます。広い多目的室の他に、大ホールがあります。放課後は、地域のサークル活動に利用されるホールですが、総合的な学習の時間の発表や集会等日々の学習で活用しています。地域には、「はぐくみの会」「悠々クラブ」「ピカピカ下校サポート」等の組織があり、児童の健全育成に役買ってくださいしています。地域の皆様の温かい目に支えられ、五小の子供たちは明るく健やかに育っています。これからも夢と希望溢れる教育活動を保護者・地域の皆様とともに推進して参ります。創立55年の本年は、第55回運動会を地域・保護者の皆様と盛大にとり行う予定です。



4年 地域安全マップの発表会

<http://www.e-hino5.hino-ky.ed.jp>

日野第七小学校

校長 上野 馨

祝 四十周年



本年度、10月19日に挙行政庁記念式典に向けて、地域・保護者とともに準備を進めているところです。改めて学校の成り立ちに目を通したり、卒業生が活躍されたりすることに触れることを通して、更に発展させていこう、とあれこれ思いをはせています。先日、学校地域支援本部、保護者、教職員でタイヤランドを一新いたしました。休み時間にはこれまで以上に高学年が低学年と混じって遊ぶ光景が増えました。子供の笑い声が日々高まっています。



東門から入ってすぐのフェンス側に設置しました

<http://www.e-hino7.hino-ky.ed.jp>

七生緑小学校

校長 加藤 敏行

言語活動を通して、自分の考えを深める



本校は平成20年度に2校が統合、新しく出発した学校です。小鳥のさえずりが聞こえる緑豊かな環境と温かい人間関係のもと、子供たちは明るくのびのびと生活しています。保護者・地域と一体となり、個性が輝き子供が主役の楽しい学校を築きます。今年度は、東京都言語能力向上推進校としての発表の年です。『言語活動を通して、自分の考えを深める子供の育成』を研究主題に、国語科及び各教科における「書く活動」の充実と活用について研究を進めています。11月15日に研究発表会を行います。



言語活動に関する研究授業の様子

<http://www.e-nanaomidori.hino-ky.ed.jp>

炬火式を開催

「国体成功の祈りを込めて」

5月12日(日)の晴れ渡る空の下、第68回国民体育大会(スポーツ祭東京2013)炬火式が市民陸上競技場にて開催されました。



一生懸命火を起こす仲田小の児童たち

「炬火」―耳慣れない言葉ですが、意味は松明や篝火のことです、今回開催される国体ではオリンピックという「聖火」と同じようなものです。国体の開催にあたり、その象徴となる炬火の採火を炬火式として行うことで、開催の無事はもとより、多くの市民の方々に開催を知ってもらい、更に応援して頂きたいという祈りが込められました。

当日の炬火式では、会場近隣の仲田小学校の児童12名が、舞錐式の火起し器を使って炬火の採火を行いました。生涯学習課では、この舞錐式火起し器を使って火起し体験授業を市内の小学校で行っており、炬火式に参加した仲田小学校の児童たちも火起しはお手の物です。開式1時間前に集合してのリハーサルでも、何度も火を起こすことに成功し、本番では見事時間内に炬火を採火することができました。児童たちが起こした炬火は、その後、トーチから炬火台へと歓声の中で点火され、炬火式は無事幕を下ろしました。



炬火台への点火
(左から古賀体育協会会長・大坪市長・秋山市議会議員)

国体開催まで展示されています。この機会に是非ご覧下さい。
なお、9月28日(土)に味の素スタジアムで開催される総合開催式の集火式で、他の市区町村の炬火とともに炬火台に点火されることとなっています。

【3競技開催日程】

空手道：9月29日(日)～10月1日(火)
ホッケー：10月2日(水)～10月6日(日)
ボクシング：10月4日(金)～10月8日(火)

皆さま、是非見に来てください!!
(生涯学習課)

毎年夏のお楽しみ、 「夏わく」の季節が やってきました

中央公民館では、「夏休み集まれ! わくわく学習術」(夏わく)を毎年実施しています。

今年も、学年や学校を越えた楽しい体験をして、夏休みの思い出づくりをしませんか。

内容は、表のとおりです。小学生3年生から6年生までの皆さん、ぜひおいでください。

申込み受付は7月15日から。中央公民館までおねがいします。参加費1人800円(初日徴収)
中央公民館(581-7580)

日程	時間	会場	内容	講師	持ち物
7月30日(火)	9時30分～9時45分	中央公民館	開講式		
	10時30分～11時30分	川辺堀之内の畑	畑からザクザク ジャガイモ掘り	伊藤 義男さん(農業者)	マイポット、弁当、動きやすい服装、エプロン、割りばし(使用済みで可)、おれはピー玉、ビニール袋、タオル、筆記用具
	13時～15時	中央公民館	何ができるかな～「染め」を楽しもう	中村由紀子さん(染織作家)	
7月31日(水)	10時～正午	中央公民館	カレー作りにチャレンジ!	中央公民館職員	
	13時30分～15時	中央公民館	宇宙への旅～地球を飛び出そう!	舟木 政信さん(独立行政法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)職員)	マイポット、筆記用具
	15時～16時	日野第一中	ペットボトルロケットを飛ばそう	日野自動車親和会の皆さん	
8月1日(木)	10時～11時30分	市民の森ふれあいホール	ハンドロウルを楽しもう	日野市スポーツ推進委員	マイポット、弁当、動きやすい服装
	13時30分～15時	中央公民館	手づくり楽器で遊ぼう	国立音楽大学の学生さん	
	15時～15時30分	中央公民館	閉講式		

学校にプールができた頃

暑い夏がやって来ました。日野市は全ての市立小・中学校にプールと屋内運動場(体育館)があります。全国的に見ると公立の小・中学校でプールがない学校もあります。では、日野市の学校には、いつからプールが作られるようになったのでしょうか?

最も早くプールが作られたのは、日野第一小学校です。昭和28年(1953)8月に、創立80周年を記念してプールが作られました。

日野第二小学校の場合は、本校(日野小学校)からの独立10周年記念事業として、昭和31年6月にプールの建設がPTAの臨時総会で決まり、その年8月に完成しました。プールの建設費は、町からの補助金のほか、学区域の人びとからの寄付金とPTA会費からも資金を出しました。二小のプールの建設には、二小PTAの人びとが労働奉仕もして大活躍しました。

昭和33年の日野第三小学校のプール建設からは、町の予算で実施されることになりました。昭和35年に日野第四小学校、36年に日野第五小学校と潤徳小学校、37年に日野第二中学校と七生中学校、38年に日野第一中学校、40年に日野第六小学校と、毎年のように学校プールが建設されました。

このように、プールの建設が進められたのは、スポーツの振興を図るため「スポーツ振興法」が制定されたことが大きな要因です。学校教育においては、昭



日野第二小学校プール建設工事(昭和31年)

(郷土資料館)

和33・35年に学習指導要領が全面改定され、小学校や中学校の体育などの目標や内容の一貫性が図られました。その結果、学校における体育活動の中心の場として、体育館やプールなどの整備が急速に進められました。興味深い逸話があります。
昭和41年7月の読売新聞に、日野市では学校がプールに水をためると、周辺地域が断水するので困っているという記事があります。特に、日野第三小学校と日野第四小学校がプールに給水した翌朝は、決まって周辺地域は断水になる、と書いてあります。これは昭和30年代から40年代にかけて、急激に住宅と人口が増えたため、日野市では上水道の整備が追い付かなかったことによりです。市ではプールへの給水を2日ばかりで行うよう指導したり、水压を上げるなどの工夫をして対処しましたが、上・下水道が完全に整備されるには、その後もまだ長い年月を必要としたのでした。

市制施行50周年記念『第九回 ひの新能』開催!

日野の地で『藝術文化』を堪能していただけるよう、みなさまにお届けします。

日時 平成25年10月26日(土) 18時～

会場 ひの煉瓦ホール(日野市民会館)大ホール

演目 能「狸々」・狂言「清水」

入場料 大人2,000円(当日2,500円)・中学生以下500円(当日同じ)

◆事前講座参加者募集!

第九回ひの新能を楽しく見るための事前講座です。どなたでも参加できます。日本の古典芸能を、楽しく体験しませんか! また、今年のひの新能の連吟(歌)・舞(踊り)に参加したい子供たちを同時募集します。是非、ご参加ください。

新選組のふるさと歴史館巡回特別展 「新選組誕生と清河八郎」

平成25年は新選組が誕生してから150年目であり、新選組の誕生に深く関わった清河八郎が亡くなつてから150年でもあります。これにちなんで、新選組のふるさと歴史館では、清河八郎と新選組の誕生をテーマとした特別展を開催します。

清河八郎は出羽国清川村(現在の山形県庄内町)の出身で、江戸で学問と剣術を学び、尊王攘夷(朝廷を重んじ外国の敵を打ち払うこと)の実行をめざして政治活動を行いました。ある事件をきっかけに江戸幕府の指名手配を受けましたが、後に許され、彼の提案が幕府に取り入れられ、全国の浪士を募集して

申込みは、7月31日(水)までに文化スポーツ課へ電話申込みとなります。(585-1111)

	日程	時間	対象	定員 参加費	内容
第1回	8月24日(土)	13時30分～15時30分	小学生以上	200人 無料	嚙子実技体験 装束の着付け 鑑賞等
第2回	10月5日(土)	13時30分～15時30分	小・中学生・高校生 新能に参加する方のみ	30人 無料	本番に向けた お稽古

※会場はひの煉瓦ホール(日野市民会館)小ホール
※第2回講座は、付き添いの保護者は参加いただけず。

浪士組が結成されました。日野市とゆかりが深い新選組は、この浪士組を母体に生まれました。清河は非常に多くの文書を書き残し、それらは貴重な歴史資料になっています。この特別展では、そのような資料をもとに、幕末期の政治・社会の様子を紹介し、新選組がどのようにして生まれたのかを明らかにします。
会期 7月13日(土)～9月23日(祝) 月曜日休館(祝日の場合は開館し翌日休館)
開館時間 9時30分～17時(入館は16時30分まで)
入館料 大人200円、小人50円
お問合せ 日野市立新選組のふるさと歴史館(583-5100)